

組織シテ強固ナル黨組織ノ確立ニ努ムル所ガアツタ。全年十月末頃長野縣下山出温泉ニ於ケル中央委員會ニ於テ、

- 1、黨全体ノ活動方針ヲ討議シ鬪争方針ヲ統一スルコト。
- 2、權威アル新中央委員ヲ選出スルコト。
- 3、黨ハ日光會議以後重要ナル會議ヲ持タズ七月十一日以後ノ豐富ナ黨活動ヲ總決算ガツケラレテキナイコト。
- 4、總選舉對策ノ決定。
- 5、地方活動分子ノ諸經驗ヲ中央委員會ニ反映セシメ、所謂黨内テモクラシーノ實現ヲ期スルコト。

等ノ理由ニヨリ擴大中央委員會召集ニ決定シ、昭和五年一月十四日ヨリ同十七日ニ至ル四日間、和歌山縣海草郡西脇野村大字本脇ノ隱家ニ於テ昭和二年十二月山形縣下五色温泉ニ於ケル黨大會以來ノ歴史の會合トモ目スベキ擴大中央委員會ヲ召集シテ總選舉鬪争方針其他重要議案ヲ審議シ、新タニ中央委員トシテ田中清玄、佐野博、前納善四郎、

向仲實之助、齋藤武、阿部義美、岡候補者木下俊郎、川崎賢雄、山本久米喜、加藤定吉等ヲ推シテ其陣容ヲ整備スル一面、各地方組織者ヲ任地ニ潛入セシメテ主力ヲ選舉鬪争カンパニヤノ準備ニ狂奔スル處ガアツタ。

管下ニ於ケル黨組織ハ所謂三・一五及四・一六事件ノ檢舉ニ依ツテ殆ンド潰滅シタガ組合全國協議會、勞農同盟等ニ結集セル尖銳分子ハ依然非合法運動ニ邁ラントスル事象ガアツタノテ各位ト共ニ其動靜ニ關シテハ注視ヲ怠ラナカッタガ、黨中央部ニアリテモ當地方ヲ重要視シ、服部養生、齋藤武、山本久米喜等ノ中樞分子ヲ配屬シ、無産者新聞並ニ無産青年新聞大阪出張所再建、新勞農黨樹立反對、ヨシア革命並ニキリム樹立十週年記念等ノ鬪争ヲ強力ニ展開スルト共ニ、大阪砲兵工廠、藤永山造船所、合同紡績天滿工場、其ノ他ノ重要産業大工場ヲ目標トシテ組織組織ニ狂奔ノ結果、全年一月中旬頃ニ於テ日本共產黨大阪地方委員會ハ三地區一直屬地方ヲ確立シ、彼上ノ諸鬪争ヲ通ジ